平成 29 年度 事業報告

平成 29 年度は、4 月 21 日から 5 月 14 日までの 24 日間、伊勢市で第 27 回全国菓子大博覧会・三重（お伊勢さん菓子博 2017）が開催され、総入場者数は目標の 60 万人には届かなかったものの 58 万人を上回る大盛況を収め、伊勢志摩を知ってもらううえで大きな成果であったと考えています。

国内誘客においては、伊勢志摩情報発信プロモーション事業として、大都市圏におけるターゲットを絞った「新しい伊勢志摩」観光プロモーション事業を展開しました。平成 29 年度から平成 31 年度までの 3 ヶ年事業の初年度にあたる平成 29 年度は、雑誌「&Premium」を活用した情報発信や、「伊勢志摩アンバサダー」を任命し SNS 等をメインとした情報発信等を実施しました。また、北海道からの誘客事業として「松阪・伊勢志摩広域」で連携し、現地旅行会社へのセールスや旅行商品造成、北海道旅行博への出展等を実施しました。

海外誘客においては、伊勢志摩国立公園が環境省の国立公園満喫プロジェクトの先導的モデルの実施個所に選ばれたことを受け、「平成 29 年度自然公園ナショナルパーク化促進支援事業」を三重県と業務委託契約を締結し事業を展開しました。伊勢志摩国立公園が誇る景観や食・文化等の資源を将来にわたって利用及び保全していくために、「地域リーダー」の人材育成を目的として、涌井史郎氏を塾長とする「ワクワク塾」を開催するとともに、インバウンド対応の充実に向けた取組みとして、自然体験を実施しているエコツーリズム事業者等と連携し、招聘した外国人を対象として伊勢志摩国立公園を満喫するツアーを開催しました。

なお、平成 30 年度は、真に伊勢志摩広域観光の中核を担いうる組織の確立を目指して、専務理事を平成 30 年 7 月 1 日に配置するとともに、主にインバウンドを担当する正規職員を 10 月 1 日に雇用し、事務局体制の強化を図ります。

1 観光情報の発信事業　　10,411 千円

伊勢志摩地域への効果的な誘客のため、行政区域の枠を超えた広域でのスケールメリットを活用した情報発信に取り組みました。

（1）インターネットによる情報発信　1,943 千円

当機構ホームページ（以下：機構 HP）について、平成 29 年度は「お伊勢さん菓子博 2017 特集」などタイムリーな情報発信に努めたほか、関連するキーワードで検索したときに機構 HP を上位に表示する取り組みなどを行ったことから、アクセス（ページビュー）数は平成 28 年度と比較して約 93 万 PV（約 18%）増

の 622 万 PV になりました。

また、フェイスブック・ツイッターに加え、インスタグラムも活用し、SNS での情報発信にも積極的に取り組みました。

なお、アクセス地域は、約 90%が三重県外からとなっており、行先の検討や計画の段階で多く見られていると推測されます。

この他にも、機構 HP を活用した財源確保の取り組みとして、宿泊予約サイトと契約し、機構 HP の旅の予約ページから予約・宿泊された件数や金額に応じて報酬を得ており、平成 29 年度は約 553 件の宿泊実績で、約 15 万円の収入がありました。

【ホームページアクセス数等】

項目		平成 29 年度	平成 28 年度	前年度比
ホームページ アクセス数 (ページビュー数)	年間	622 万 PV	約 529 万 PV	118%
	年末年始 (12/28～1/3)	119,583PV	98,271PV	122%
フォトギャラリー画像請求件数		約 1,881 件 (月 160 件)	2,650 件 (月 220 件)	71%
フェイスブック いいね数		約 10,700	約 7,800	＋2,900
ツイッター フォロワー数		約 3,850	約 3,700	＋150
インスタグラム フォロワー数		約 700	約 150	＋550
宿泊予約サイト	宿泊実績	553 件	634 件	87%
	収入	150,161 円	157,334 円	95%

伊勢志摩観光ナビホームページ

(2) メディアによる情報発信　　5,338 千円

三重テレビ「ええじゃないか。」で番組制作し、3 市 1 町の魅力的な資源や、旬の情報等を発信しました。また、今年度は、伊勢志摩をより PR していくため、風光明媚な伊勢志摩の自然をメインテーマにした、テレビ CM 制作・放送に取り組みました。

【ええじゃないか。】

放送期間：平成 29 年 4 月 ～ 平成 30 年 3 月　（毎週 1 回 55 分間）

放 送 局：毎週月曜日　午後 7 時 00 分 ～　三重テレビ放送
毎週月曜日　午後 7 時 00 分 ～　岐阜放送
毎週日曜日　午後 4 時 00 分 ～　テレビ埼玉
毎週木曜日　午後 7 時 00 分 ～　千葉テレビ
毎週金曜日　午後 8 時 00 分 ～　テレビ神奈川
毎週土曜日　午後 2 時 00 分 ～　とちぎテレビ
毎週日曜日　午後 0 時 30 分 ～　ＫＢＳ京都放送
毎週木曜日　午前 8 時 30 分 ～　奈良テレビ
毎週土曜日　正午　～　サンテレビ（兵庫）

※上記 9 局で全国世帯数の 50.1%をカバーしています

放送日 (三重テレビ)	取材地	タイトル
平成 29 年 7 月 10 日	志摩市	とっておきの体験ができる「ええ旅」さがし！
7 月 17 日	鳥羽市	夏の離島を満喫するええ旅さがし！
8 月 21 日	伊勢市	時のまちをええ旅さがし
10 月 2 日	鳥羽市	いろんな秋を感じるええ旅さがし！
10 月 9 日	南伊勢町	とことん魚を楽しむええ旅さがし！
10 月 30 日	志摩市	絶景の紅葉名所をええ旅さがし
11 月 6 日	伊勢市	アートなスポットでええ旅さがし！
11 月 27 日	3 市	秋の小旅行を満喫するええ旅さがし　前編
12 月 4 日	3 市	秋の小旅行を満喫するええ旅さがし　後編
平成 30 年 1 月 8 日	鳥羽市	お祝いづくしのええ旅さがし！
3 月 19 日	伊勢市	外宮周辺の新しい店めぐり
3 月 26 日	志摩市	おでかけ心をくすぐるええ旅さがし

【テレビ CM 制作・放送】

三重テレビでの放送期間：

平成 29 年 7 月 26 日の正午～（高校野球決勝戦中に 1 回）

平成 29 年 8 月 1 日～29 日の毎週火曜日午後 5 時～(アニメの放送中に 1 回)

奈良テレビでの放送期間：

平成 29 年 8 月 3 日～10 月 26 日の毎週木曜日午前 8 時 30 分～

（ええじゃないか。奈良テレビ放送中に 2 回）

(3) パンフレット等による情報発信　　3,130 千円

紙媒体による伊勢志摩地域全体の観光情報の発信として、ガイドブックを作成・配布しました。

伊勢志摩観光ガイドブック「美し国　伊勢志摩」は、これから伊勢志摩地域に訪れる方への情報発信として、地域全体の観光情報や伊勢志摩地域への経路情報を掲載しつつ、伊勢志摩地域での周遊にも使えるガイドブックとして、地図情報や具体的なドライブプランなど広く情報を盛り込んだものです。

このガイドブックは、伊勢志摩地域の観光案内所や、中部国際空港セントレア、三重テラス等に配置されており、伊勢志摩を広く情報発信するのに寄与するとともに、伊勢志摩地域の観光施設や宿泊施設にも配置いただくことで、伊勢志摩に訪れた方への情報提供ツールとしても活用されています。

さらに、日本語版ガイドブックに加え、年々増加する外国人観光客にも、伊勢志摩地域の魅力を分かりやすく効果的に発信できるよう、英語版・中国語版（繁体字・簡体字)、韓国語版のガイドブックを作成し、海外からの観光客に配布するとともに、当機構会員の皆様には海外での PR 活動や海外出張時の資料としてもご活用いただいております。

平成 29 年度に増刷したガイドブック

パンフレット名	作成部数
伊勢志摩観光ガイドブック「美し国　伊勢志摩」(日本語版)	30,000 部
伊勢志摩観光ガイドブック「美し国　伊勢志摩」(日本語ダイジェスト版)	60,000 部
伊勢志摩観光ガイドブック「美し国　伊勢志摩」(英語版)	20,000 部
伊勢志摩観光ガイドブック「美し国　伊勢志摩」(韓国語版)	10,000 部

2 観光客及びコンベンションの誘致促進及び受入体制の整備に関する事業
23,027 千円

伊勢志摩地域全体への観光入込客の増大を図るため、地域で一体となって観光客やMICE等の誘致に取り組みました。

（1）伊勢志摩情報発信プロモーション事業　　9,268 千円

昨今、旅行者の消費傾向が「モノ消費」から「コト消費」へと変換しており、旅行者のライフスタイルに寄り添う伊勢志摩になるため、「神宮」のキラーコンテンツに頼るだけでなく、ナショナルパークに選定された理由・魅力のイメージに転換し、常に新しい伊勢志摩であり、旅行者が求める観光地であるということをしっかりと伝えるコミュニケーションを実現するための情報整備と正確なプロモーションを実施しました。

主なプロモーション展開として、伊勢志摩ならではの観光資源を再発掘する「伊勢志摩イメージチェンジ」と、長期ステイを促す「長期滞在促進リゾートステイ」を目標に、新規及びリピート顧客の増加と周遊促進に繋げるため、雑誌「&Premium」を活用して旅の目的地として伊勢志摩の魅力を読者に伝えることができました。雑誌編集タイアップ単体での出稿ではなく、JR 東海の旅行商品の純広告を並列させたことで読者がそのまま伊勢志摩への旅行を検討できるように展開できました。

事業をより効果的に実施するために三重県や伊勢市の事業とも連携して、ツーリズムEXPOジャパンを初めとした首都圏でのイベント出展や開催など単に雑誌出稿にとどまらず、一貫したコンセプトを持ち、連携したプロモーション及び観光PRを実施しました。これらの実施展開によりメディアとの深いパイプ作りができ、編集協力という形で計画以上の展開が実施できました。

また、首都圏での情報発信の一役を担う「伊勢志摩アンバサダー」を初めて任命し、SNS等をメインとした情報発信や、三重テラスにおいて伊勢志摩アンバサダーのネットワークを活用した発信力のあるインフルエンサーを集めたセミナーを開催し、メインターゲットである30～40代の女性に伊勢志摩アンバサダーの視点で魅力を伝達し、インフルエンサーから情報発信していただきました。

さらに、平成30年は北海道の名付け親で知られる松阪市出身の偉人「松浦武四郎生誕200年」と「北海道命名 150年」のメモリアルイヤーであり、新千歳空港と中部国際空港を結ぶ航空路線の LCC 運航開始などもあったことから、ゆかりの地である北海道から三重県へ来訪する絶好の機会と捉えて、「松阪・伊勢志摩広域」で連携して現地旅行会社へのセールスや旅行商品造成、平成30年2月に初開催となった北海道旅行博へ出展するなどの事業を実施しました。

伊勢志摩観光振興プランに掲げる首都圏等大都市圏のエリアターゲットやニ

ーズを絞り、伊勢志摩地域全体の観光 PR を実施し、地域イメージの訴求に努めました。

観光振興プラン最終年度である次年度へ向けて、さらに「新しい伊勢志摩」のイメージを訴求し、魅力を向上させるだけでなく、消費者にしっかりと浸透させていきます。

ア 大都市圏にターゲットを絞った「新しい伊勢志摩」観光プロモーション事業

（ア） 雑誌「&Premium」8 月号（平成 29 年 6 月 20 日発売）

※カラー2P タイアップ＋4P 編集協力＋WEB 転載（&premium.jp）

（イ） 雑誌「&Premium」2 月号（平成 29 年 12 月 20 日発売）

※8P 編集協力＜深いパイプができたことで、定価 1,600 万円のところを編集協力のみ＞

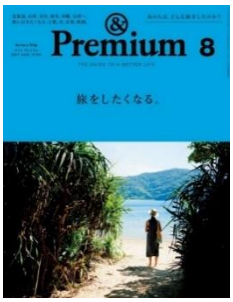
雑誌「&Premium」

出版社：マガジンハウス

発行部数：96,958 部（印刷証明）

発売日：毎月 20 日

価格：780 円



「より良き日々」にための好奇心や行動意欲、消費意欲はきちんと持っている。衣・食・住・カルチャー、それぞれに自分なりの選び方がある。そんな 30～40 代女性が読者。

イ 人材発掘事業（伊勢志摩アンバサダー）

伊勢志摩アンバサダーとは、首都圏在住の伊勢志摩出身又は伊勢志摩にゆかりのある方を発掘して任命し、情報発信プロモーションの一役としてセミナー等を通じて伊勢志摩の情報を首都圏の方に正確に伝え、伊勢志摩旅行を喚起する後押しの役目を担っていただきます。

‣口コミやインターネット・SNS などによる伊勢志摩の魅力の情報発信

‣伊勢志摩の旬･ローカルな情報を三重テラスでセミナー等を開催して伝達

‣伊勢志摩が主に首都圏で開催するイベントへの協力参加　　など

（ア）　任命者：尾崎　ななみ（満 30 歳）
伊勢市出身　東京都在住

【プロフィール】

高校在学中に東京の芸能事務所ホリプロのオーディンションを受けて合格。卒業後に上京し、活動開始。173cm の身長を活かし、モデル活動を中心にタレント業でも活動。

【経歴】

- ミス東京ガールズコレクション 2007 特別賞受賞
  （応募者数 1 万 5000 人）
- ASIA PACIFIC SUPER MODEL CONTEST2007 日本代表
- ウェザーニューズ 7 期 おは天キャスター中部担当 オーディション 1 位通過
- 第 58 代目ミス伊勢志摩 グランプリ（2013～2014）
- 2017 ミス日本酒三重 準グランプリ
- モデル/MC/レポーター、その他

現在はフリーランスに PR 活動。東京で化粧品会社の商品戦略・商品 PR・SNS 対応を業務委託されています。

また、三重県の事を沢山の方に知っていただくために、SNS で伊勢志摩を中心に三重県の紹介を続けています。

（イ）　伊勢志摩アンバサダーセミナー
平成 30 年 2 月 16 日　午後 7 時～9 時 30 分　三重テラス
参加者：30 名（伊勢志摩アンバサダー知人のインフルエンサー）

ウ 連携施策事業

（ア）　みえ観光の産業化推進委員会との連携

- 雑誌「&Premium」11 月号（平成 29 年 9 月 20 日発売）
- ツーリズム EXPO ジャパン（平成 29 年 9 月 21 日～24 日）
- 梅田蔦屋書店イベント（平成 29 年 9 月 22 日、29 日）
- 代官山蔦屋書店イベント（平成 29 年 10 月 11 日）

（イ）　伊勢市との連携
原宿カフェスペースでの ISECAFE イベント（平成 29 年 11 月 17 日～30 日）

（ウ）　当機構出稿「&Premium」8 月号 6P とみえ観光の産業化推進委員会出稿「&Premium」11 月号 4P のタイアップと合わせた「&Ise Shima」抜き刷り制作

＜配布先＞

‣ツーリズム EXPO ジャパン（平成 29 年 9 月 21 日～24 日）
‣代官山蔦屋書店イベント（平成 29 年 10 月 11 日）
‣梅田蔦屋書店イベント（平成 29 年 9 月 22 日、29 日）
‣伊勢志摩アンバサダーセミナー（平成 30 年 2 月 16 日）

（エ）「&Premium」とコラボした「&Ise Shima」オリジナルバッグ制作

＜配布先＞

‣ツーリズム EXPO ジャパン（平成 29 年 9 月 21 日～24 日）
‣代官山蔦屋書店イベント（平成 29 年 10 月 11 日）
‣梅田蔦屋書店イベント（平成 29 年 9 月 22 日、29 日）
‣伊勢志摩アンバサダーセミナー（平成 30 年 2 月 16 日）

（オ）　JR 東海　旅行商品「女子旅スイッチ」純広告との連携

【効果 1】

‣&Premium　6 月 20 日売りカラー6 ページ掲載
　96,968 部(発行部数)×12.1 人(回読人数)＝1,173,312 人
‣&Premium.jp　記事転載（3 ヶ月間）
　月 3,500PV 想定×3 ヶ月掲載＝10,500PV
‣&Premium　9 月 20 日売りカラー4 ページ掲載（みえ観光の産業化推進委員会出稿）
　96,968 部(発行部数)×12.1 人(回読人数)＝1,173,312 人
‣&Premium　12 月 20 日売りカラー8 ページ掲載（編集協力）
　96,968 部(発行部数)×12.1 人(回読人数)＝1,173,312 人
‣&Ise Shima 抜き刷り
　25,000 部(発行部数)×12.1 人(回読人数)＝25,000 人以上

‣&Premium　1 回の出稿での延べ到達人数　約 1,170,000 人
連携施策を含めた延べ到達人数　3,544,900 人以上

【効果 2】

JR 東海の旅行商品「女子旅スイッチ」の販売実績　　3,834 人

※平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日　実績

エ　松阪・伊勢志摩広域で取り組む北海道エリアにターゲットを絞った誘客促進事業

松阪市の偉人である、北海道の名付け親「松浦武四郎」が平成 30 年で生誕 200 年、北海道命名 150 年のメモリアルイヤーとして北海道と三重県との関係性は非常に良く機運が高まっている状況であるが、北海道から中部国際空港への利用者約 85 万人のうち、三重県に来訪している観光客は約 6 万 4 千人と利用者の大半が他のエリアに流れている状況にあるため、少しでも三重県へ送客できるよう、松阪・伊勢志摩広域で事業実施して来訪する観光客数を約 10 万人以上に増加させることを目標に、新千歳空港エリアである札幌をメインターゲットに誘客促進事業を実施しました。（※データは平成 27 年度国土交通省航空局より引用）

（ア）　「北海道旅行博」出展（主催：北海道新聞社）

平成 30 年 2 月 24 日～25 日

札幌グランドホテル（札幌市中央区）

来場者数：24 日 5,088 名、25 日 4,001 名　合計　延べ 9,089 名

（イ）　旅行説明会（主催：ANA 北海道支社、三重県）

平成 30 年 2 月 23 日午後 3 時～4 時 30 分

参加事業者：5 社

（ウ）　誘客促進事業（旅行商品造成）

委託業者：株式会社近畿日本ツーリスト

a 個人旅行商品の展開

北海道メイトセンターとの連携によりパンフレット「旅する伊勢志摩」(2 月 1 日～3 月 31 日帰着)を作成しました。直営店舗 9 ヶ所及び代理店、提携店にて店頭販売、近畿日本ツーリスト北海道ホームページ上に掲載して WEB 販売しました。

＜販売実績＞　30 名

b エスコート型旅行商品の展開

クラブツーリズム株式会社北海道旅行センターとの連携により商品造成。新聞掲載（半 5 段）、旅の友臨時増刊号掲載、WEB にて販売しました。

＜販売実績＞　102 名

その他「観光イベント等」出展参加実績　※上記、記載分以外

活動日	観光イベント名等	活動内容
平成 29 年 4 月 7 日 ～9 日	みえ伊勢志摩フェア伊勢志摩観光 PR （イオンレイクタウン）	観光 PR
4 月 14 日 ～16 日	お伊勢さん菓子博 2017 開幕記念イベント 三重うまいもんフェア伊勢志摩観光 PR （イオンモール東員）	観光 PR ※パンフレット協力のみ
	お伊勢さん菓子博 2017 開幕記念イベント 三重うまいもんフェア伊勢志摩観光 PR （イオンモール名古屋茶屋）	観光 PR ※16 日のみスタッフ協力
5 月 27 日 ～ 28 日	関空旅博 2017 伊勢志摩観光ＰＲ	観光 PR ブース出展 （三重県関西事務所連携） ※ステージ PR 有
9 月 21 日 ～24 日	ツーリズム EXPO2017 ※21～22 日　国内旅行・訪日ランドオペレーター商談会 ※23～24 日　国内エリア展示会	観光 PR ブース出展 （みえ観光の産業化推進委員会（三重県）・近鉄連携）
10 月 30 日	トラベルガールズフェスタ 2017	観光 PR ブース出展 （三重県広報広聴課、三重県関西事務所連携）

関空旅博 2017

トラベルガールズフェスタ 2017

(2) マーケティング推進事業　　4,104 千円

当機構では、“観光立圏”伊勢志摩経済圏の活性化に向け、「伊勢志摩観光振興プラン」（以下「プラン」という）を策定し、これに基づき、消費行動、消費額を高めるための魅力向上に取り組んでいることから、当地域への国内外からの誘客における現状把握と分析を実施しました。

マーケティング調査の結果については、プランの目標達成やプランの改訂（平成 31 年度に予定）及び、日本版 DMO 候補法人登録（平成 30 年度に予定）のための資料として活用します。

(3) インバウンド推進事業　4,930 千円

環境省が国立公園の「ナショナルパーク」としてのブランド化を目指し実施する「国立公園満喫プロジェクト」の先導的モデル地区のひとつに伊勢志摩国立公園が選定されたことから、三重県から事業を受託し、訪日外国人による国立公園利用者を増大させる取組みを行いました。また、日本初となる IAGTO 第1回日本ゴルフツーリズムコンベンションが平成 30 年 10 月に志摩市で開催されることが決定したほか、平成 31 年度以降にはラグビーワールドカップ 2019、東京オリンピック・パラリンピック 2020、ワールドマスターズゲームズ 2021 関西の日本開催も予定されており、日本への関心の高まりが期待されることから、訪日外国人の誘客につながる事業を展開しました。

ア　インバウンド事業

伊勢志摩エリアのさらなる訪日外国人の誘客につながるよう以下の事業を実施しました。

商談会

開催日	内容
平成 29 年 6 月 5 日	外務省　地域の魅力発信セミナー（東京都）
6 月 29 日	平成 29 年度インバウンド商談会（東京都）
11 月 30 日 ～12 月 4 日	2017 年 釜山・HANATOUR 旅行博覧会（韓国・釜山）

招聘事業（ファムトリップ）

開催日	内容
平成 29 年 11 月 8 日～10 日	[環境省事業]外国人向け伊勢志摩国立公園満喫ツアー （カナダ・香港・イギリス・アメリカ） ※プレファムトリップ　10 月 25 日（水）・26 日（木）
11 月 20 日～22 日	[外務省事業]駐日各国外交団の伊勢志摩視察ツアー （欧州連合代表並びに 13 カ国の駐日大使等）
平成 30 年 1 月 12 日～13 日	[ビジット・ジャパン事業]JR 伊勢熊野和歌山エリア周遊パスを活用した PR 事業 （タイ）
2 月 12 日	[ビジット・ジャパン事業]JR 伊勢熊野和歌山エリア周遊パスを活用した PR 事業 （台湾）

その他

開催日	内容
平成 30 年 3 月 18 日～21 日	ボッチャ国際大会での伊勢志摩ブース出展（伊勢市）

また、伊勢志摩鳥羽インバウンド協議会に参画し、3 市 1 町をはじめ関係団体との情報共有や意見交換及び共同事業の実施により、相乗効果が発揮できるようインバウンド事業推進に取り組みました。

イ 自然公園ナショナルパーク化促進支援事業

伊勢志摩国立公園が環境省の国立公園満喫プロジェクトの先導的モデルのひとつに選ばれたことを受け、訪日外国人を惹きつける取組を様々な事業者と連携しながら実施し、世界水準の「ナショナルパーク」としてのブランド化と、外国人旅行者を 2020 年までに 10 万人に押し上げることを目標として、三重県が実施する以下の 2 事業を受託しました。

（ア）人材育成支援

a 概要

伊勢志摩国立公園の資源の活用と保全を行うことで上記の目標達成を目指すため、地元企業や地域住民と一緒に活動していただける「地域リーダー」の育成を目的とした涌井史郎氏を塾長とする「ワクワク塾」を三重県から受託し開催しました。

b 事業実施主体

三重県

c セミナー日程

講演会　　：平成 29 年 10 月 29 日　※台風接近のため中止
第１回セミナー：平成 29 年 11 月 16 日
第２回セミナー：平成 29 年 12 月 13 日
第３回セミナー：平成 30 年 2 月 5 日

この他にも 4 回、自主的な勉強会を行いました。

d 地域交流会

日程：平成 30 年 3 月 7 日
場所：鳥羽商工会議所　かもめホール
参加者：地域住民・関係者　計 79 名
内容：涌井史郎氏の講演・塾生の活動発表
塾生 9 名からそれぞれの活動について発表を行い、活動がさらに良くなるためのアドバイスを涌井氏より受けました。

（イ）プロモーション支援

a 概要

今後ますます増えることが予想される訪日外国人の受入先となる地域事業者の育成、連携強化を目的として、日本在住の外国人ライターやジャーナリスト等を招聘し、外国人観光客の受け入れに積極的な伊勢志摩国立公園内の事業者（自然体験事業者、 観光施設、飲食店等）を視察し、外国人目線で評価していただく、満喫ツアー（評価型ファムトリップ）を三重県から受託し開催しました。

満喫ツアーの評価内容を地域の事業者にフィードバックすることにより、地域全体におけるエコツーリズムのインバウンド対応技術の向上を図りました。なお、受入事業者の技術向上を目的に評価を行うツアーは、今回が初めての実施でした。

b 事業実施主体

環境省・三重県

c 日程

プレファムトリップ　平成 29 年 9 月 25 日～ 26 日
ファムトリップ　　平成 29 年 11 月 8 日～ 10 日

d 受入れ事業者

9 事業者

ファムトリップの様子

評価会の様子

e その他関連事業

開催日	内容
平成 29 年 9 月 21 日～24 日	環境省　ツーリズム EXPO ジャパンナショナルパークブース出展（東京都）
12 月 14 日	環境省　国立公園満喫プロジェクト・プロモーション情報交換会（大阪府）

12 月 23 日	環境省　instagram を活用した伊勢志摩国立公園の魅力発信事業（伊勢志摩）
平成 30 年 2 月 2 日	環境省　国立公園満喫プロジェクト・プロモーション情報交換会（東京都）

(4) MICE 誘致事業　　4,349 千円

平成 29 年度、当機構が伊勢志摩地域で関係した 30 件のコンベンション大会のうち、10 件のコンベンション大会に対して、助成金交付の開催支援を実施し、20 件のコンベンション大会に対して、後援名義の使用を許可しました。

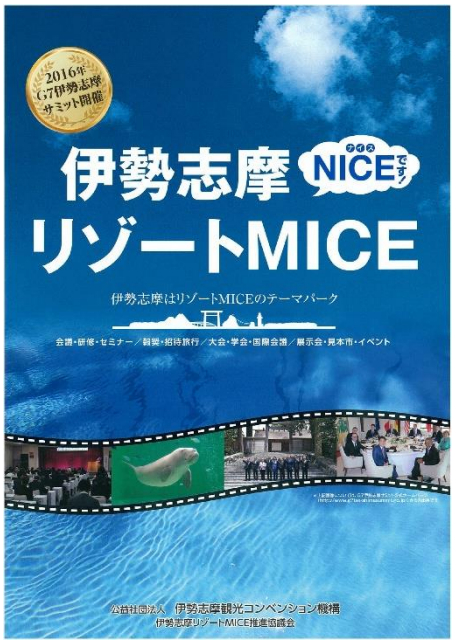
助成金を始めとする開催支援サービスの対象を従来の「学術系 C（学会、大会等）」「スポーツ・文化系 C（競技会、コンクール等）」に加え、「M（企業の会議等）」「I（企業の報奨旅行等）」「E（展示会、見本市等）」の MICE 全般を対象とするなど、強化した支援メニューを活用し誘致を行いました。

平成 27 年 4 月より伊勢志摩地域の宿泊施設、観光施設、運輸機関が参加して設立された「伊勢志摩リゾート MICE 推進協議会」は、3 年目に入りワーキンググループを通じた活動も定着し、MICE 企画商品の新規造成、パンフレットの作成、MICE 誘致用ツールの刷新などを行いました。

また、2 月には国内最大級の MICE 見本市である「第 27 回国際 MICE エキスポ（IME2018）」（京王プラザホテル）に 3 回目の出展をしました。商談会形式（10 枠／1 ブース）となった今回の IME2018 では、10 件の商談があり、会場・宿泊施設、観光資源、当機構の支援メニュー等を紹介して伊勢志摩での MICE 開催を呼びかけるとともに、関係づくりや開催情報の収集に努めました。

今回得られた情報に基づき、今後も継続して誘致活動を進めるとともに、「伊勢志摩リゾート MICE 推進協議会」をは

じめ、関係者の方々と連携・協力を図りながら、「伊勢志摩」を積極的に PR していきます。



「NICE です！伊勢志摩リゾート MICE」

パンフレット　　ちらし

コンベンション開催支援（助成金交付）

No.	開催日	日数	大　会　名	会　場	参加人数
1	平成 29 年 6 月 1 日 ～2 日	2	日本食品化学学会 第 23 回総会・学術大会	伊勢志摩 ロイヤル ホテル	264
2	7 月 6 日 ～7 日	2	平成 29 年度 JA 女性組織 東海北陸地区リーダー 研修会	鳥羽 シーサイド ホテル	371
3	7 月 27 日 ～28 日	2	第 22 回全国高等学校 観光教育研究大会	伊勢 シティホテル	138
4	9 月 11 日 ～12 日	2	第 37 回東海北信越 美容研修会	伊勢市 観光文化会館	1,080
5	10 月 7 日 ～8 日	2	生き物文化誌学会 伊勢例会	皇學館大学	121
6	10 月 22 日	1	東海体育学会 65 回大会	皇學館大学	114
7	10 月 28 日 ～29 日	2	2017 年度中部西ブロック ・ユネスコ活動研究会 in 三重	伊勢 シティホテル	102

8	10 月 28 日 ～29 日	2	平成 29 年度東海北陸地区 子ども会育成研究協議会 三重大会	神宮会館	320
9	11 月 10 日 ～11 日	2	第 38 回全国幼児教育研究 協会教育経営研修会 三重大会	鳥羽 シーサイド ホテル	114
10	12 月 9 日 ～10 日	2	日本スプリント学会 第 28 回大会	皇學館大学	1,137
合　計					3,761

コンベンション開催支援（後援名義の使用承諾）

No.	開催日	日数	大　会　名	会　場	参加人数
1	平成 29 年 4 月 9 日	1	第 6 回 R260 ロードフェスタ	R260 沿線 （紀北町～ 南伊勢町～ 志摩市）	95
2	6 月 3 日	1	第 57 回伊勢えび祭	浜島 海浜公園	30,000
3	7 月 1 日 ～2 日	2	伊勢志摩・里海 トライアスロン大会 2017	浜島町大矢浜 海水浴場他	724
4	7 月 2 日 ～3 日	2	劇団伊勢第 69 回公演「希 望のふるさと伊勢志摩～ 戦後初の国立公園指定～」	伊勢市 観光文化会館	1,235
5	7 月 15 日	1	第 65 回伊勢神宮奉納 全国花火大会	宮川河畔	230,000
6	8 月 4 日 ～9 日	6	第 46 回全国自治体職員 サッカー選手権大会	伊勢 フットボール ビレッジ	800
7	8 月 4 日 ～3 月 31 日	240	伊勢志摩フルサポート サイクリングツアー	伊勢市・鳥羽 市・志摩市・ 南伊勢町	90
8	10 月 14 ～15 日	2	第 17 回神嘗奉祝祭 「祭のまつり」	三重県営 サンアリーナ 他	3,800
9	10 月 15 日	1	第 49 回中部日本サイクリ ング大会 in みえ	海女小屋 磯人	150
10	10 月 21 日 ～22 日	2	第 33 回神宮奉納全日本 ソフトテニス大会	伊勢市 市営庭球場	250
11	10 月 27 日 ～28 日	2	海女サミット 2017in 鳥羽	タラサ志摩 海の博物館	
12	10 月 29 日	1	宮川流域縁(ゆかり) フェスタ	宮リバー 度会パーク	120
13	11 月 9 日		第 50 回日本観光祈願祭 第 13 回日本観光交流伊勢 会議	伊勢神宮 （外宮）他	111

14	11 月 17 日	1	講演会「灯台の愛し方、楽しみ方」	志摩市商工会館	100
15	12 月 1 日	1	ポストサミットの観光施策セミナー	志摩市商工会	100
16	12 月 2 日～3 日	2	野口みずき杯 2017 中日三重お伊勢さんマラソン	三重県営サンアリーナ	12,000
17	12 月 22 日～24 日	3	「御食つ国・志摩」年末海族市	波切漁港	25,000
18	平成 30 年 1 月 12 日～17 日	6	第 5 回伊勢志摩紀州名古屋フェア	仙台市（藤崎本館）	11,948
19	2 月 8 日	1	「カリスマ添乗員に学ぶ　おもてなしの極意」セミナー	志摩市商工会館	100
20.	3 月 9 日～11 日	3	鳥羽フラ 2018	鳥羽市民文化会館・戸田屋・タラサ志摩	3000
合　計					319,263

（7）誘客促進事業　376 千円

会員及自治体等の関係機関と協働で誘客促進を図るため、大都市圏を中心に観光情報提供会等に参加し、各種誘致活動を行いました。また、DMO 法人登録に向けて、研修会への参加や関係機関との協議を行いました。

3 伊勢志摩フィルムコミッション事業　　411 千円

映画・テレビ・CM 等の撮影を誘致・サポートすることにより、地域内連携の強化を図りつつ地元の魅力の再発見に繋げ、伊勢志摩の魅力を PR することによって、多種多様な広報宣伝を図るため、以下の事業に取り組みました。

（1）撮影誘致支援活動

映画、テレビ、CM 等の映像作品を誘致し、ワンストップサービスによる支援を行い、それらの映像作品を通した当地域の知名度アップや魅力の創出、更には経済効果等、様々な波及効果につなげるとともに、地域が一体となったサポート体制を図ることによる地域連携の強化を図りました。

制作会社等からの問い合わせへの対応や、取材及び撮影へのサポートの件数は 101 件（テレビ 39、映画 12、ドラマ 8、CM19、Web4、雑誌 4、その他 15）で、そのうち 40 件は実際にスタッフが伊勢志摩へ取材･撮影に入りました。他にも、動画や画像・ポスターなどを提供し、テレビやドラマ、Web、新聞等によって伊勢志摩が発信されたものは 12 件ありました。それらに対し、延べ 470 名のエキ

ストラを派遣しました。
　また、今年度は全国劇場公開映画の撮影支援を２件行いました。

【問合せ、撮影等対応件数】

	問合せ対応や取材・撮影のサポート件数	実際に取材・撮影した件数
平成 26 年度	68 件	35 件
平成 27 年度	100 件	50 件
平成 28 年度	117 件	50 件
平成 29 年度	101 件	40 件

【主な支援作品】

テレビ番組

No.	テレビ局名	番組名	放送日
1	テレビ朝日	食彩の王国	平成 29 年 6 月 10 日
2	フジテレビ	その原因、Ｘにあり！	6 月 16 日
3	テレビ朝日	林修の今でしょ！講座	6 月 27 日
4	BS-TBS	美しい日本に出会う旅	8 月 16 日
5	日本テレビ	24 時間テレビ　愛は地球を救う	8 月 27 日
6	CBC テレビ	大前亮将の OH！MY 旅	9 月毎週水曜日
7	テレビ朝日	ミュージックステーション ウルトラフェス	9 月 18 日
8	読売テレビ	遠くへ行きたい	10 月 8 日
9	テレビ朝日	ナニコレ珍百景	12 月 6 日
10	BS-TBS	高島礼子・日本の古都	平成 30 年 1 月 6 日
11	NHK	バリバラ	1 月 21 日・28 日
12	テレビ大阪	関西の名湯秘湯ベスト 10	2 月 10 日

映画、ドラマ

No.	媒体	題名	公開日
1	WEB ドラマ	日本をゆっくり走ってみたよ	平成 29 年 10 月 20 日
2	ドラマ	恋する鳥羽（全 10 話）	11 月 3 日から
3	映画	半世界	平成 31 年 1 月予定
4	映画	青夏	平成 30 年 8 月予定

CM、その他

No.	会社・プロダクション名	内　容
1	㈱ピクト	WEB-CM　大江戸温泉物語
2	近畿日本鉄道㈱	TV-CM　伊勢志摩　2017 秋
3	近畿日本鉄道㈱	TV-CM　伊勢志摩　2018 春
4	㈱伊勢安土桃山文化村	WEB-CM　伊勢安土桃山城下街
5	㈱グルーヴ	TV-CM　和ラー　三重 伊勢海老汁風
6	㈱アイツー	DVD 制作 内田雄馬のこえめし第２巻　三重編
7	㈱インディ・ アソシエイツ	三重トヨタ店舗 CM ハイラックスピックアップ
8	㈱アイネックス	WEB-CM　㈱STEP トラベル
9	㈱ギークピクチュアズ	TV-CM　缶コーヒー『BOSS』
10	㈲ユニセッション	TV-CM　志摩スペイン村

(2) 広報活動・研修会　等

活動日・事業名・場所	活動・広報内容
平成 29 年 7 月 6 日～7 日 JFC 認定研修 2017 TKP 品川港南口ホール他	フィルムコミッション活動の注意点や心構え等々について、職員２名が２日間にわたり研修を受け、『JFC 認定研修の修了書』をいただきました。
9 月 3 日 第三回賢島映画祭 賢島宝生苑	伊勢志摩フィルムコミッションが後援しました、志摩ムービークルーズ主催の「第三回　賢島映画祭」と懇親パーティーに出席し、映画関係者と情報交換を行いました。
平成 30 年 1 月 24 日 JFC 全国ロケ地フェア 2018 東劇ビル２階	映像制作関係者を対象に三重県内のロケ地ＰＲや相談を行いました。また全国のフィルムコミッションの担当者と情報交換を行いました。
1 月 24 日 スキルアップ研修 2018 リロの会議室	基礎研修を修了し、実務の経験を積んだ全国のフィルムコミッション担当者を対象に、更なるスキルアップをめざし、２部構成で他地域の取組みから共有すべき点や課題を学んだ。

3 月 9 日 愛知県 FC セミナー アイリス愛知	『映像支援を通じた地域振興』というテーマで、ほの国東三河ロケ応援団の鈴木恵子氏、坂口錦也氏、㈱オフィス北野の小宮慎二氏、なごや・ロケーション・ナビの三宅友里氏より講義を受けました。
3 月 18 日 第 15 回三重映画フェスティバル･ぐるっと三重上映キャラバン 2017 志摩商工会館	伊勢志摩フィルムコミッションのエキストラ募集チラシを設置し、エキストラ登録募集を行いました。

「JFC 全国ロケ地フェア 2018」

「第三回賢島映画祭」

（3）フィルムコミッション事業推進委員会や他地域フィルムコミッションとの連携

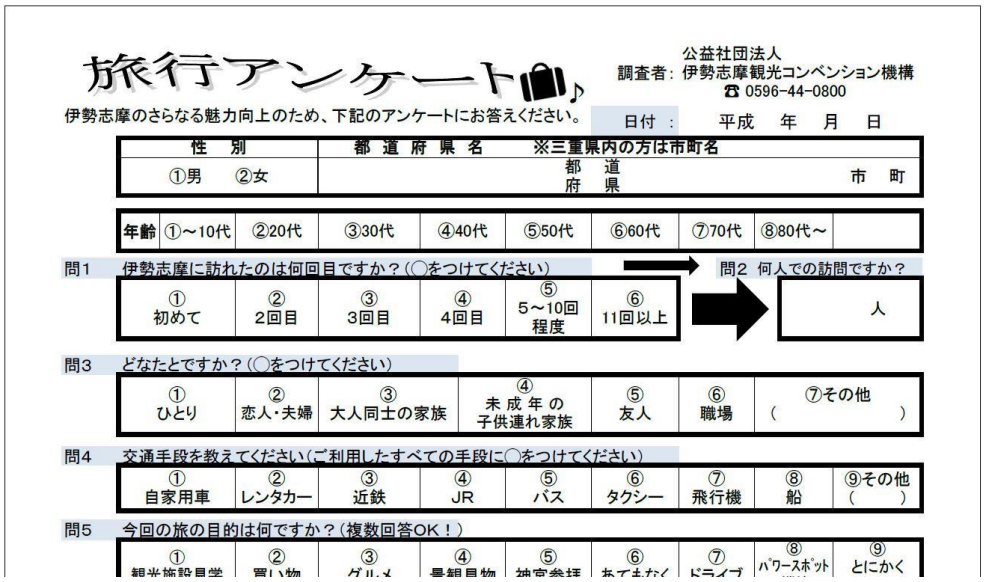
県内フィルムコミッション及び東海地域のフィルムコミッションと情報交換を行ない、連携を図りました。

日程	会議名
平成 29 年 7 月 12 日	伊勢志摩フィルムコミッション事業推進委員会
9 月 1 日	東海地域フィルムコミッション第 1 回実務担当者会議
11 月 17 日	県内フィルムコミッション研修会及び情報交換会
平成 30 年 2 月 21 日	県内フィルムコミッションの活動等に関する研修会
3 月 9 日	東海地域フィルムコミッション第 2 回実務担当者会議

4 観光情報の調査研究及び観光客の満足度の向上に関する事業　170 千円

観光客へのおもてなしを向上させ、伊勢志摩広域で市町の枠・官民の垣根を越えて域内の調整、連携及び観光客の実態を把握するため、以下の事業に取り組みました。

伊勢市 5 ヵ所、鳥羽市 4 ヵ所、志摩市 3 ヵ所の各観光施設にご協力いただき、観光客アンケート調査を行いました。(1 回 800 サンプル／年 4 回)



旅行アンケート♪

公益社団法人
調査者：伊勢志摩観光コンベンション機構
☎ 0596-44-0800

伊勢志摩のさらなる魅力向上のため、下記のアンケートにお答えください。　日付：　平成　年　月　日

性　別	都 道 府 県 名　※三重県内の方は市町名
①男　②女	都道府県　　市　町

年齢	①～10代	②20代	③30代	④40代	⑤50代	⑥60代	⑦70代	⑧80代～	

問1　伊勢志摩に訪れたのは何回目ですか？(◯をつけてください)

① 初めて	② 2回目	③ 3回目	④ 4回目	⑤ 5～10回程度	⑥ 11回以上

問2　何人での訪問ですか？

人

問3　どなたとですか？(◯をつけてください)

① ひとり	② 恋人・夫婦	③ 大人同士の家族	④ 未成年の子供連れ家族	⑤ 友人	⑥ 職場	⑦その他 (　　)

問4　交通手段を教えてください(ご利用したすべての手段に◯をつけてください)

① 自家用車	② レンタカー	③ 近鉄	④ JR	⑤ バス	⑥ タクシー	⑦ 飛行機	⑧ 船	⑨その他 (　　)

問5　今回の旅の目的は何ですか？(複数回答OK！)

① 観光施設見学	② 買い物	③ グルメ	④ 景観見物	⑤ 神宮参拝	⑥ おもてなし	⑦ ドライブ	⑧ パワースポット	⑨ とにかく

アンケートの結果については、会員の皆さまに配付するとともに、当機構のホームページにも掲載します。

また、今年度実施しました「伊勢志摩観光マーケティング業務」においては、過去のアンケートデータを基礎資料の一つとして活用しました。

5 観光産業及び観光文化の振興と人材の育成に関する事業　　119 千円

伊勢志摩の各地域で一体となった集客交流が円滑に進む体制の整備を通じて、地域の観光産業の振興を図りました。また、地域の観光事業者及び観光客へのおもてなしに関心を持つ一般の方などを対象に、食や伝統、歴史、文化についての基礎知識やおもてなし対応を習得できる研修やセミナーを実施することで、人材の育成を図りました。

昨年に開催されました伊勢志摩サミットを通じて、三重の地酒が国内外に広く知られることになったことを受け、地酒について学ぶ機会を創生することに

より、伊勢志摩へ訪れる観光客の満足度向上につなげることを目的に、伊勢志摩サミットのワーキングランチにて食中酒として使用された≪酒屋八兵衛≫をはじめとする地酒と料理をテーマとしたセミナーを開催しました。

6 伊勢志摩 WAON 寄附金の受領

当機構は、イオン株式会社と伊勢志摩地区の産業振興や観光振興及び地域の発展を目的として包括協定を締結しています。

平成 29 年 3 月～平成 30 年 2 月分の「伊勢志摩 WAON」カードの利用金額の 0.1%に当たる 4,142,556 円が、当機構に寄附されました。（イオンリテール株式会社様から 3,332,230 円、マックスバリュ中部株式会社様から 810,326 円）

また、平成 29 年 4 月 15 日にはイオン伊勢店において、平成 28 年度に受領した寄附金の贈呈式が行われました。

7 全国菓子大博覧会・三重（お伊勢さん菓子博 2017）

（1）PR 等

来場者の周遊を促進するため、開催地の伊勢市、三重県と連携して、会場内の三重おいない館に設置した観光 PR ブースにて、「みえ食旅パスポート」と「みえ食旅パスポート（菓子博版）」の発給及び応募受付、伊勢市が実施中の「おかしめぐり」スタンプラリーの押印受付を行うことに加え、伊勢志摩観光コンベンション機構、各市町の観光パンフレットを配布し、来場者に広く伊勢志摩地域の魅力を紹介しました。

（2）ホームページでの発信

当機構ホームページに菓子博特集など菓子博の情報を掲載しました。

菓子博開催期間中(4 月 21 日～5 月 14 日)のアクセス数は､機構ホームページ全体で約 51 万ページビュー(前年比 185%）あり、そのうち、菓子博関連ページは 14 万ページビュー（全体の約 27%）でした。

（3）その他

全国菓子大博覧会三重実行委員会に当機構会長、事務局長等が役職に就き、連携協力しました。

8 その他

（1）入退会について

平成 29 年度は、12 法人の入会があり、7 法人の退会がありました。

No.	入会者法人名	所　在　地	入会日
1	株式会社 伊勢志摩ツーリズム	伊勢市宇治中之切町 74-1	平成 29 年 5 月 15 日
2	サウンドエース	伊勢市神田久志本町 1522-4	5 月 15 日
3	有限会社勝原産業	伊勢市岡本 3 丁目 14-7	6 月 28 日
4	一般社団法人 国際交流支援協会	伊勢市西豊浜町出雲 141	6 月 28 日
5	株式会社三交イン 三交イン伊勢市駅前	伊勢市宮後 1 丁目 1-1	6 月 28 日
6	伊勢まちづくり株式会社	伊勢市岩渕 1 丁目 1-17	8 月 10 日
7	富士ゼロックス三重 株式会社	津市栄町 1 丁目 817	8 月 10 日
8	ソフトバンク株式会社	名古屋市中村区名駅 1-1-3	9 月 12 日
9	日本ヘリシス株式会社	志摩市阿児町神明 863-4	9 月 12 日
10	株式会社パールファルコ	伊勢市一色町 101	10 月 31 日
11	鳥羽ビューホテル花真珠	鳥羽市安楽島町 1075-98	12 月 22 日
12	有限会社ノア	鳥羽市国崎町字大岳 3-3	12 月 22 日

(2) 総会の開催について

総会名	日　時	議　題
定時	平成 29 年 6 月 22 日	・理事の選任（案）について ・平成 28 年度事業報告及び収支決算報告（案）について ・平成 29 年度収支補正予算（案）について
第 1 回 臨時	11 月 22 日	・役員の選任（案）について ・平成 29 年度収支補正予算（案）について ・専務理事の配置及び正規職員の採用（案）について ・会費規程の見直し（案）について ・平成 30 年度伊勢志摩観光コンベンション機構の事業展開（案）について
第 2 回 臨時	平成 30 年 3 月 20 日	・平成 29 年度収支補正予算（案）について ・平成 30 年度事業計画及び収支予算（案）について ・定款の見直し（案）について

※定時・第 2 回臨時：伊勢市二見生涯学習センターにて開催
※第 1 回臨時：伊勢市二見公民館にて開催

(3) 理事会の開催について

理事会名	日　時	議　題
定時	平成 29 年 5 月 24 日	・第 1 号議案　理事の選任（案）について ・平成 28 年度事業報告及び収支決算報告（案）について ・平成 29 年度収支補正予算（案）について ・平成 29 年度定時総会の招集（案）について
決議の省略	6 月 22 日	（みなし決議） ・代表理事の選任について
第 1 回臨時	11 月 2 日	・役員の選任（案）について ・平成 29 年度収支補正予算（案）について ・平成 29 年度第 1 回臨時総会の招集（案）について
決議の省略	11 月 14 日	（みなし決議） ・専務理事の配置及び正規職員の採用（案）について ・会費規程の見直し（案）について ・平成 30 年度伊勢志摩観光コンベンション機構の事業展開（案）について
第 2 回臨時	平成 30 年 2 月 28 日	・平成 29 年度収支補正予算（案）について ・平成 30 年度事業計画及び収支予算（案）について ・定款の見直し（案）について ・専務理事の募集（案）について ・平成 29 年度第 2 回臨時総会の招集（案）について
決議の省略	3 月 30 日	（みなし決議） ・事務局長の選任について

※全日程とも伊勢市二見生涯学習センターで開催

理事会の様子

総会の様子

（4）伊勢志摩観光企画委員会の開催について

平成 29 年度の伊勢志摩観光企画委員会において、当機構の各事業について協議を行い、次年度において適正な事業運営を実施するための議論を重ねました。

会議名	日　時	協議事項
第 1 回	平成 29 年 5 月 17 日	・平成 28 年度事業報告及び収支決算書ついて ・平成 29 年度収支補正予算について ・会員拡大について ・機構改革ビジョンについて
第 2 回	10 月 3 日	・平成 29 年度収支補正予算について ・専務理事・専門プロパーの配置について ・会費規程の見直しについて ・平成 30 年度伊勢志摩観光コンベンション機構の事業展開について
第 3 回	平成 30 年 2 月 7 日	・平成 29 年度収支補正予算について ・平成 30 年度事業計画及び収支予算について ・款の見直しについて ・専務理事・正規職員の募集要領等について

※第 1 回・第 2 回：伊勢市二見生涯学習センターにて開催
※第 3 回：伊勢市二見総合支所にて開催

9 伊勢志摩キャンペーン事業（特別会計事業）　　37,955 千円

平成 29 年度は、「おとな・こども・わくわく　伊勢志摩キャンペーン」をテーマに各事業を展開しました。

（1）情報発信

伊勢志摩は、朝・昼・夕・夜と表情を変える豊かな自然や多様な食材、大自然の中でのアクティビティ、そして伊勢神宮と、この地でしか体験できない魅力がいっぱいであることを、写真家 浅田政志氏が伊勢志摩の各地をめぐり撮影した写真を各種広報物で展開することで、伊勢志摩の魅力に触れていただくとともに、この地を訪れ、周遊し、感動を味わっていただくための情報発信を実施しました。

また、伊勢志摩を感じてもらうにふさわしい食材のほかプレゼント企画等を掲載したリーフレットを作成し、旅行代理店、近鉄主要駅、伊勢志摩地域の観光案内所、施設等で配布したほか、イベントでのＰＲに活用しました。

（広報事業展開用ツール）

種　類	規　格	制作数
リーフレット	A4 版（8ﾍﾟｰｼﾞ両面刷り）、 4 色カラー、じゃばら折	180,000 部
ポスター 2 種	B1・B2・B3、4 色カラー	14,150 枚
スペシャルプレゼント 応募対象施設ステッカー	150 ㎜×150 ㎜	800 枚
スペシャルプレゼント用 応募葉書	長形	256,910 枚

WEB での情報発信として、耳より情報、イベント情報、ご当地グルメ、おすすめスポット、宿泊プラン、浅田政志氏による伊勢志摩を体感いただくための記事、プレゼント企画等が満載のインターネットサイトを作成しました。

(2)「旅処」の設置

伊勢志摩地域内での情報発信の拠点として、伊勢・鳥羽・志摩・玉城・度会・南伊勢の 3 市 3 町に計 16 ヵ所の「旅処」を設置し、伊勢志摩キャンペーンの案内や地域の観光お役立ち情報の提供、参宮の木札の販売を実施しました。

参宮の木札を使った企画として、旅処で参宮の木札を購入または既にお持ちの木札の提示で、伊勢志摩地域内の観光施設で使えるクーポン券や割引券・ノベルティグッズなどが入ったおもてなし福袋を配布し、地域での周遊を促進しました。

また、参宮の木札を提げて、伊勢志摩の提携店舗で 500 円以上のお買い物（木札購入を含む）をされたお客様に「五色玉」（木製）（紫、緑、赤、白、黄）の中からお好きな色の玉を 1 個進呈しました。

（旅処施設名）

地　域		施　設　名（施設名は平成 28 年度時点）
1	伊勢市	伊勢 菊一
2		伊勢河崎商人館
3		賓日館
4		宇治浦田観光案内所
5		伊勢夫婦岩ショッピングプラザ
6	鳥羽市	鳥羽一番街
7		相差　海女の家　五左屋（ござや）
8		鳥羽展望台　食国蔵王（おすくにくらおう）
9		鳥羽大庄屋かどや

10	志摩市	志摩マリンレジャー賢島営業所
11		マルシェ志州隼人
12		横山ビジターセンター
13		大王崎観光駐車場
14	玉城町	地場産品販売処「城（ぐすく）」
15	度会町	いらっ茶いわたらい
16	南伊勢町	南伊勢町観光協会

(3) プレゼント企画

プレゼント企画として、期間中に伊勢志摩を訪れ、地域内の伊勢志摩キャンペーン協力施設で 5 千円以上の宿泊や買い物等の条件を満たした方に、「「夏至の伊勢参り」二見～外宮～内宮～朝熊山」1 泊 2 食プラン／ペア 15 組様」など全部で 9 コースのプレゼントをご用意し、14,192 名様の応募がありました。

（応募結果）

宿泊施設	まわりゃんせ	近鉄旅行商品	観光施設	その他	合計
2,406	5,363	143	1,419	4,861	14,192

また、誰でも参加できるプレゼントとして、伊勢志摩ならではの豪華賞品やキリン製品が毎月抽選で当たるプレゼント企画を実施し、14,417 名様の応募がありました。

（応募結果）

10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	計
3,355	2,503	1,926	2436	4,197	14,417

(4) 事業の休止

伊勢志摩キャンペーンは、平成 25 年の神宮式年遷宮に向けて、当地域への更なる誘客を図ることを目的に平成 17 年度から実施してきた事業で、神宮式年遷宮から 4 年が経過し、本事業も一定の役割を果たしたと判断したことから、平成 30 年度から本事業を一旦休止することとなりました。なお、平成 30 年度は、宿泊者数の増加につなげるための新たな取り組みを予定しています。

10 伊勢志摩学生団体誘致事業（特別会計事業）1,142 千円

首都圏、関西圏、その他地域の小・中学校及び高等学校等を主要ターゲットに、単年度来訪実績「25 校 2,500 名」を目指し、中でも新規来訪校「15 校 1,500 名」、継続来訪校「10 校 1,000 名」以上、特に首都圏及び関西圏においては、「4 校 400 名」の新規及び継続来訪校数の目標を少し変更して学生団体旅行の誘致活動を行いました。

伊勢志摩への誘致テーマ「美し国・環境学習　～自然・歴史・文化から学ぶ～」を継続し、会員及び体験施設や宿泊施設が共通の提案及びプログラムづくりに取り組みながら、積極的に情報発信することで伊勢志摩教育旅行の差別化を図りました。

事業としては、テーマに沿ったガイドブックの改訂増刷と、学習テーマを反映した「学び方」提案ツールを作成し、誘致活動を効果的に支援しました。

誘致活動においては、首都圏及び関西圏等の学校訪問及び誘致セミナーや現地視察招聘、関係機関との情報交換などを積極的に展開しました。

また、三重県との連携を強化し、学誘事業を効果的に推進しました。

(1)企画立案事業

総合学習テーマ「美し国・環境学習　～自然・歴史・文化から学ぶ～」の共有化・普遍化を図りながら、誘致活動ツールを検討しました。

ア　セールスツールの作成

学生団体旅行ガイドブック「伊勢志摩においないさぁ」修正、増刷、リニューアル等含めて検討しました。

イ　ホームページの活用

当機構ホームページの改良を平成 30 年度に実施するため、併せて当委員会ページもリニューアルすることとしました。

ウ　伊勢志摩サミット開催地での他地域との差別化の推進

伊勢志摩サミットのレガシーを教育旅行誘致の推進に取り入れ、他地域との差別化を図り「伊勢志摩」のネームブランドを活かして「おもてなし・体験」などのオリジナルの魅力をセールスポイントとして活動しました。

(2) 誘致宣伝事業

目標に掲げる地域への効果的な誘致活動を展開するため、校長会、教育委員会、全修協、日修協及び県と連携しながら学校訪問セールス等を積極的に実施しました。

ア　学校訪問セールス

（ア）首都圏中学校

開催時期	平成 29 年 8 月 28 日～29 日
参加人数	7 班（2 名 1 班、計 14 名）
訪問校数	神奈川県川崎市、埼玉県行田市の公立中学校　60 校
PR 内容	見学施設、宿泊施設及びモデルコースの紹介、 「おいないさぁ」ガイドブック配布説明

（イ）関西圏小学校

開催時期	平成 30 年 2 月 27 日～28 日
参加人数	8 班（2 名 1 班、計 16 名）
訪問校数	大阪府堺市、八尾市、東大阪市の公立小学校　68 校
PR 内容	見学施設、宿泊施設及びモデルコースの紹介、 「おいないさぁ」ガイドブック及び参加施設料金表等配布説明

（ウ）その他地域

関東地区公立中学校修学旅行委員会研究協議会（事務局：全国修学旅行研究協会）でプレゼン活動を実施しました。

また、別に委員長、事務局等にて教育旅行エージェント（東北圏、首都圏、関西圏(姫路含む)）への訪問セールスを実施しました。

（エ）その他

関係団体等主催のセミナー等への参加や、来訪校への対応可能範囲で歓迎セレモニーを実施しました。

イ　あおぞら号に関わる伊勢志摩修学旅行情報交換会への参加

平成 29 年度は開催されませんでした。今後、開催された場合は参加していきます。

ウ　情報メディア等を利用した広報活動

ターゲットを絞った個別のセールス活動を補完すべく、全国発信可能な情報メディアを精査し、幅広く効果的な広報宣伝を行うことで「伊勢志摩」が教育旅行先の検討に入り込めるよう、観光経済新聞社の「中学校特集」へ出稿して全国の中学校への配布や観光関連事業者、旅行エージェントに向けての広報活動を実施しました。

(3) 受入体制整備調査事業

首都圏・関西圏の小・中学校及び高等学校等から、新規及び継続した来訪実績はあるものの、人口減少が続くなか、実際に伊勢志摩地域にどれだけの学生団体客を誘致する必要があるのか、どこから誘致すると良いのか、伊勢志摩地域の観光施設及び宿泊施設、三重県や各市町教育委員会、各学校等の国内外からの受入体制や状況を把握し、マーケティングしたうえで効果的に学生団体客を誘致するための体制整備に取り組みました。

ア　誘致実績実態調査

3 市 1 町の観光協会を対象に誘致実績実態調査を実施しました。今後は当委員会会員施設も含めて個々に聴き取り調査を実施します。

イ　訪日教育旅行の受入体制調査

今年度は聴き取り調査まで実施ができなかったため、次年度に向けて県及び各市町の教育委員会、学校側の指針等を確認して受入体制が整備できるよう各市町及び団体等との情報交換や収集に努めます。